



PTR HONDA

Hikaru okubo 大久保 光

World Supersport Championship

round - 4 SPAIN August .29-30

予選 17 番手 レース 1 -17 位 レース 2 -15 位



スーパースポーツ世界選手権（WSS）第4戦が、スペイン、モーターランド・アラゴンで開催されました。大久保光は、第2戦のレース2で転倒、レース後に鼻の付け根を骨折していることがわかり、ドクターストップとなり第3戦を欠場しました。休養を取り、体調を整えて第4戦を迎えました。

「しっかりと結果を残したい」と走り始めますが、金曜日の走行で、転倒してしまいます。土曜日朝の走行でも転倒してしまい、短い時間でマシンを修復し予選に挑むことになりました。限られた時間の中で、バイクの確認をしながらの走行となり、思うようなタイムアタックが出来ず予選17番手となります。転倒で身体を打ってしまったことで、痛みもあり、万全とは言えない状況で決勝に挑みました。

レース1は、17位、レース2は15位と、願っていた結果とは程遠いものとなってしまいましたが、復帰レースをしっかりと走り切りました。走り切ることで得たデータ、感覚は、結果以上のもので、次につながるものです。大久保を支えるチームは、次戦には、スイングアーム、フレームを変え、マシンへの不安のない状況で挑めるように準備し、上位を目指します。

大久保光

「第3戦欠場は、とても残念でしたが、ドクターストップがかかり、チームからも強く休養するように言われ、休むしかありませんでした。第4戦に向け、しっかりと準備していたつもりが、金曜、土曜と転倒が続いてしまいました。高速コーナーでのフロントからの転倒でもあり、少しナーバスになっていた部分もありました。転倒が続いたことで、見た目はダメージがなくても、フレームに問題がある場合を心配してくれ、チームが次戦では新しいものに変えると言ってくれました。そのサポートに、しっかりと答えたいと思っています。レース2では、いい感触を掴んでいます。それを、次戦に生かし、まずは、トップ6を狙い、今年目標でもある表彰台、優勝へと進みたいと思っています。心配させてしまったことを心苦しく思っています。喜んでもらえる報告が出来るように、これまで以上に懸命に挑みます」

※次回は、9月5日~6日開催の第4戦テルエルの報告をさせていただきます。